令和３年度　評　価　結　果

高田カトリック幼稚園

１．園の教育目標

カトリックの「愛の教え」に基づいて、一人ひとりの人格を尊敬と愛情をもって受け入れるように努める。学校教育法・モンテッソーリ教育法を総合的に取り入れ、幼児それぞれの発達に応じた自主活動を行い、他の幼児や教師たちと楽しく関わりあいながら、ゆたかな人格形成ができる適切な手助けと環境を提供するよう努める。

２．本年度、重点的に取り組む目標・計画

＊　職員の研修
＊　保育環境の充実
＊　安全管理
＊　情報の共有、発信

３．評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
＊職員の研修	教師としての人間的な成長と専門性のさらなる向上を目指して、以下のような取り組みを行いました。
・子どもの育ちを語り合い、園全体で目指す保育や子どもの姿を共有し、子どもを観察する力を養う	○　保育後に子どもの姿を共有し、関わり方・援助等についての反省、評価をできるかぎり行い、明日への保育に繋げるようにしました。話し合うことにより、思いを共有し、同じ方向性を持って保育していくことができたと思います。 ○　子どもの姿や育ちを話し合う中で、自分の気づいていなかった子どもの姿、思いに気づくことができ、新たな視点で子どもを観察するように努力してきました。 △　個別に援助を必要とする子どもへの対応については、生活上の問題が出てきた時に話し合うことが多くなりました。前もってもっと子どもへの接し方、取り組み方を共有しておくことが大切であると感じました。 △　話し合う時間帯により、勤務時間等の関係でその場にいない職員に対しても、しっかり共有できるように、話し合いの時間設定、伝達方法などに工夫が必要であると感じました。
・モンテッソーリ教師としての実践力（子どものモデルとなる生活の力･環境の構成と維持する力）を高める。	○　子どもの成長への欲求に応えることができるように、様々な分野の研修を受け、専門性を高めるよう努めてきました。 業務の多いコロナ禍の中でしたが、オンラインやDVD等を通して定期的に研修を行いました。

	○　京都モンテッソーリ教育教師養成コースでモンテッソーリ教育を学ぶ学生さん方が、見学実習の園として、度々来られることがありました。緊張を伴うこともありますが、保育や環境を見て色々な感想をよせてくださることで、私達自身が気づいていたい点に気づけ、環境や子どもへの関わりを改めて意識するといった学びの場となりました。 △　モンテッソーリ教育教師養成コースが新規に学生の募集をされなかった為、新任保育者が体系的な学びをするチャンスがありませんでした。 　また有資格者も、提供の勉強、練習の機会がなかなか持つことができませんでした。日々子どもと生活し活動する中でこそ、学んできた提供、援助の方法を確認しあう時間の確保が必要であると感じており、次年度への課題としたいと思います。
＊保育環境の充実 ・モンテッソーリ教育の実践園として、子ども達が自由を使って生活できる環境をつくる。	○　何年もの課題である子ども達が自由を使って生活できる環境をつくっていく為、教師間の話し合いを通して、少しずつ、日常生活（自由選択活動）を大切にした行事のあり方、取り組み方を課題として、常に考え模索しながら保育を行ってきました。 △　２学期は運動会、クリスマス会という準備のいる大きな行事の前は、横割り活動（一斉活動）の時間とのバランスをとるのがまだ難しいところも多々ありました。園の行事の数や種類の取捨選択、行い方に工夫がまだ必要であると感じています。 　また、出来栄えばかりだけでなく、そこへ至るまでの過程を大切にしていることを、もっと保護者の方へ子どもの姿を伝えながら発信していきたいと思いました。
・戸外での活動の環境や内容	○　園庭での鬼ごっこや缶けりなど、みんなで体を動かし、ルールのある遊びを楽しめるようになってきています。 　昨年度の子ども達が遊んでいた様子を覚えていて、同じように自分達もしてみたいと遊ぶ様子が伺え、遊びが受け継がれていることを感じました。 △　反面、戸外での遊びが発展しないこともあり、遊びの種類、提供がまだ少ないのではと感じる場面もありました。戸外で遊べる製作物などを準備するなどの工夫をし、子どもの体力、運動能力を養える環境をもっと考えていきたいと思います。

・人と関わる力が育つ環境	○　年度当初は、年長児が年少児を世話する姿が見られましたが、２学期になると年中児が困っている小さい人のことを気にかけたり、関わろうとしている姿が見られるなど、縦割りクラスの中で、教師も含め自然に助けたり助けられたりする雰囲気が育まれていると思います。 ○　人との関わりに支援の必要な人について、作業療法士などの専門家に保育を見ていただき、環境や関わり方についていただいたアドバイスを皆で共有して関わってきました。
＊安全管理 ・避難訓練	○　緊急地震警報の音を聞くなど、実際につながる訓練を行いました。 △　地震や火災、不審者への対応など、日頃から繰り返し様々な訓練が必要です。さらに避難しなければならない時、場所や時間帯などで子ども達の姿も違うため、さらに様々な場面を想定し、訓練する回数を確保する必要性を感じました。
・けがやアレルギー	○　新任者だけでなく、アレルギーや子どもの怪我や病気への対応について、日々の保育で生かせるように専門の先生の講義を全員で受講しました。
・感染症予防、衛生管理	○　感染症予防についても研修を行いました。 また、マスクの着用、アルコール消毒、手洗いの指導、換気、健康チェック表の提出依頼、来園者の検温などによるスクリーニングなどを行い、予防に努めてきました。
＊情報の共有、発信 ・子どもの中に育っているもの、幼稚園の取り組みを、細やかに、保護者、教会や地域の方々に発信していく。	○　昨年に引き続きコロナの感染状況により、園の行事への保護者の方の参加を制限しなければなりませんでした。YouTube 等を利用して、様子を配信するなどし、少しでも様子がわかるように努めました。 ○　保護者の皆様とのコミュニケーションを、心を込めて大切にとるよう、必要に応じて細やかに電話連絡や面談などを行うよう努めました。 ○　園での様子を伝えるツールとして個人の記録を持ち帰っていただいています。さらにその内容が、もっと子どもの姿、成長が伝わ

	るような物になるよう工夫していきたいと考えています。 （写真なども利用して） △　ホームページの更新がなかなかできませんでした。 △　コロナウイルス感染予防の為、外部からの方に園へ足を運んでいただけるような機会が少なくなり、教会や地域に、なかなか園の取り組みを発信することができませんでした。

４．評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	
良	教師間また保護者の方々のご理解・ご協力をいただき、子ども達の園生活や行事を話し合いながら、子どもの日々の生活が中心になるような取り組み方を皆で模索しながらも思いを一つにして、取り組むことができました。

５．今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
＊保育環境の充実と研修	・　環境としての保育者の役割や動き方について、また環境の作り方、維持の仕方、提供の仕方について、モンテッソーリ教育実践園として、引き続き研修を行い学び合っていきます。 ・　作業療法士など専門の方を様々な機会に招き、特別な配慮の必要な人への支援の仕方等について、皆で学んでいきます。 ・　互いに学び合っていく時間を確保するため、時間の捻出について工夫していきます。
＊安全管理	・　引き続き、安全への意識を高め、非常時に職員が連携して対応できるよう体験的な研修を深めると共に、子ども達も年齢に応じた動き方ができるよう、方法を検討しながら引き続き避難訓練を実施していきます。
＊情報の共有・発信	・　子ども達の園生活の中で、育っていく過程を大切にしていることや子ども達の姿を、様々な方法や機会を使って、保護者の方々、教会や地域へ発信し、園の保育内容や思いを知っていただけるようにさらに努めます。

関係者評価

・　昨年に引き続きコロナ禍の状況の中で、保育と感染予防対策の両立が大変だったと思いますが、その中にあって、先生方が子ども達や保護者の方と真摯に向き合い、日々努力を重ねておられる姿が伝わってきました。
・　常に細かいところまで目の行き届いた保育をしていただいたと感じ、一人ひとりが安心して園生活を送ることができたのは、先生方の話し合いを重ねた好連携があればこそのことと思います。
・　高田カトリック幼稚園のどこかホッとする雰囲気が好きです。また、どの先生も皆、子どもの様子を知っていてくださることが安心でした。それは、日々先生達が話し合い、子どもを観察されておられる力であると感じます。
・　愛なしではできない保育の仕事をこつこつと積み重ねた結果として、見学にいらっしゃる園になったことと思います。一人ひとりへの気づきは、大変であると思いますが、幼児期は人間の基礎作りの要です。色々苦労もあることと思いますが、頑張ってください。

→　あたたかい信頼の言葉を寄せていただきました。時間の捻出について工夫しながら、引き続き子ども達の育ちを皆で分かち合い、保育内容や保育への思いを深め、保護者の方々や教会や地域へさらに発信し、分かち合っていきたいと思います。

・　奈良県は海がないので、または、大和高田市大中には特別危険な山や川がないので、安全でしょうか？テレビなどで災害の報道を見てもあまりピンとこないのが現状ではないでしょうか。近年、災害が多くあり何があってもおかしくないと言っても過言ではありません。
　幼稚園の周りはどのようになっているのか、歩いて実際の目で確認することは、とても大事なことであると思います。また、高田カトリック幼稚園では、何が不安か、困っているのか。常にアンテナを張っていてくださるようにお願いします。災害は人も地域も選びませんので、教会をはじめ地域の方々との協力が大事デス。避難訓練など面倒であっても一致して行動できるよう、やさしい行動で、少しずつコツコツと続けることが大切であると思います。

→　ご指導いただいたように、幼稚園の周辺の危険箇所や避難の実際を考えながら、職員皆で歩いて自分達の目でしっかりと確認し、それを元に避難訓練の計画を立て、実施してまいります。
常にアンテナを張るとは、危機意識を研ぎ澄まし、不安に思ったことをこのくらいはとせずに、皆で共有することだと考え、実行してまいります。また、引き続き地域の方々とのコミュニケーションも大切にしてまいります。